

2023年10月9日鳥島近海の地震のF-net観測波形

● F-net 広帯域地震計により，10月9日鳥島近海での地震活動に伴う地震波の伝播が観測された。

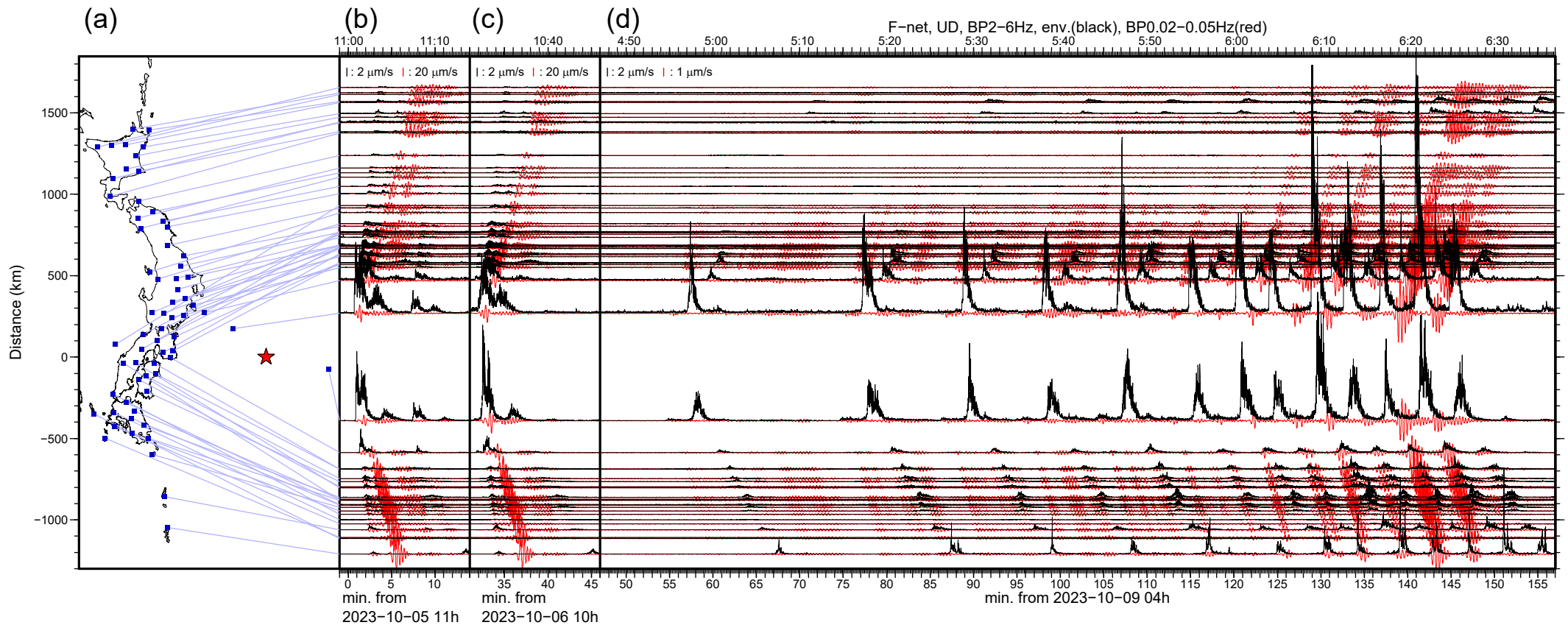


図1. 防災科研 F-net の広帯域地震計記録の上下動成分について，20～50秒の帯域でバンドパスフィルターを適用した地震波形（赤線）および，0.166～0.5秒（2～6 Hz）の帯域でバンドパスフィルターを適用し，スムージング処理したエンベロープ波形（黒線）. (a) 使用した F-net 観測点分布（青四角）. (b) 2023年10月5日10:59頃に鳥島近海で発生した Mw6.0 の地震（F-net 解）に関する，10:59 から15分間の観測波形. 震央（図(a)の赤星印）からの距離順に波形をプロットしている. 振幅のスケールを図中上側に示した. (c) (b)と同様にプロットした，2023年10月6日10:31頃に鳥島近海で発生した Mw6.0 の地震（F-net 解）に関する，10:31 から15分間の観測波形. (d) (b)と同様にプロットした，2023年10月9日4:47から110分間の地震波形. エンベロープ波形（黒線）の振幅スケールは同一であるが，赤線の波形の振幅は20倍に拡大されている. 10月9日の活動に伴う地震波形は4:55頃から6:30頃まで確認され，とくに6時台の振幅が大きくなっている. 10月9日の地震活動について2～6 Hz の帯域で顕著な波の見かけ速度は，赤星印を震央と仮定した場合，いずれも約 1.5 km/s となり，T フェーズと考えられる.